

都市計画小田良谷戸公園の

整備計画について

(審議)

1. 都市計画小田良谷戸公園の整備方針案

多摩丘陵において営まれてきた里山の暮らしと自然との共生により維持されてきた環境を次世代に繋ぎ、誰もがこの環境と身近に触れ合いながら、人々の繋がりを大切にしていける公園を創りあげていくという考えの下、本公園のテーマを設定する。

テーマを実現するため、「守る」「楽しむ」「繋ぐ」という視点から、3つのコンセプトを設定した。

【テーマ】

農の営みを生かしながら、多摩丘陵の自然を守り、様々な人が楽しみ、人々をつなぐ“ふるさと”として受け継がれる公園

【コンセプト】

<守る> 多摩丘陵の生物多様性と里山景観の保全

- ・ 里山環境を保全し、生物種とその生息・生育空間の多様性の確保
- ・ 既存の谷戸や丘陵の地形を生かし、里山の景観や環境に配慮した整備の推進

<楽しむ> 農や自然と気軽にふれあい、親しむ場の提供

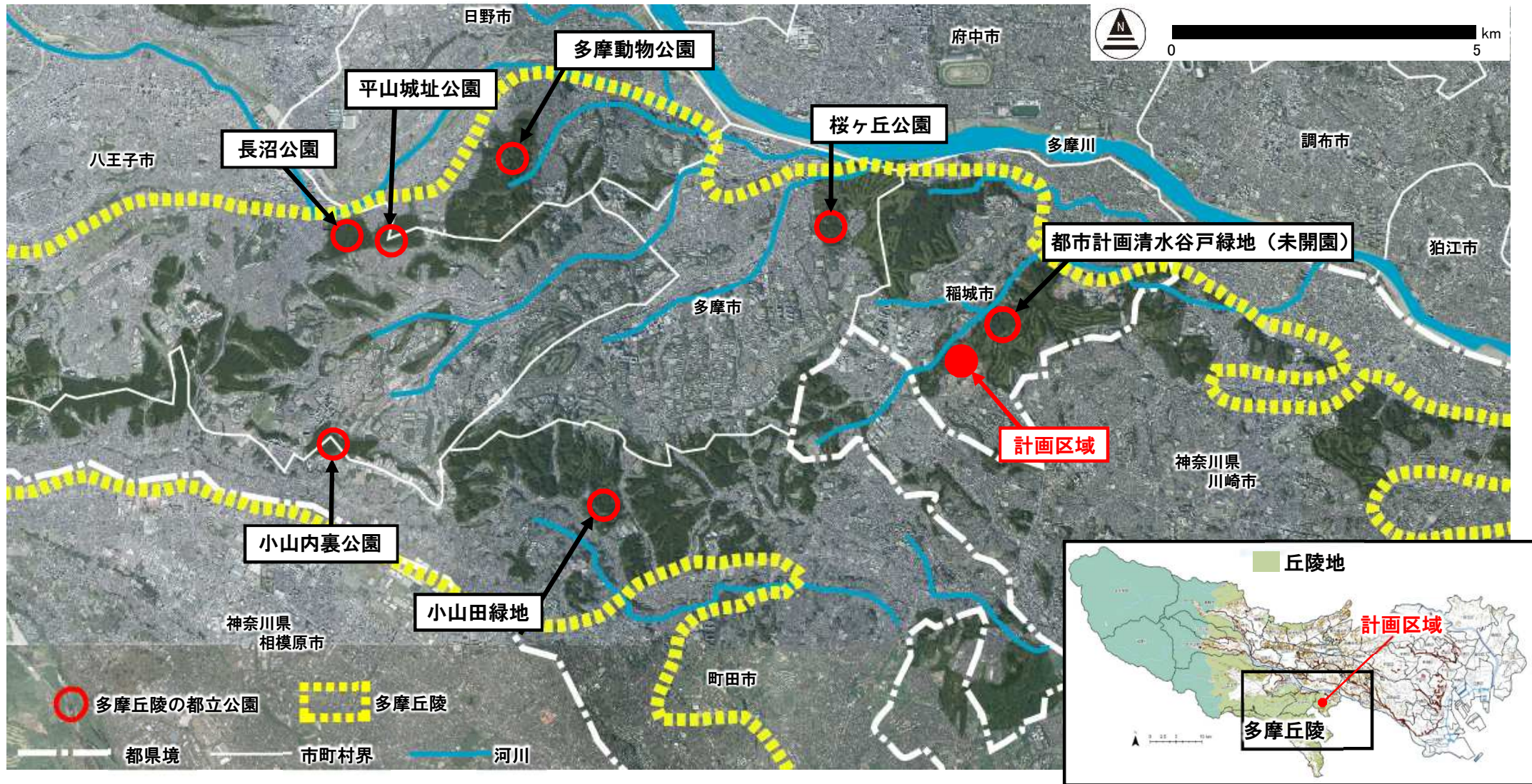
- ・ 里山での体験活動や環境学習等と継続的な保全活動による自然との共生の推進
- ・ 水田など農や自然の活用の場とのびのびと遊ぶことができるレクリエーション空間の創出

<繋ぐ> 地域とともに様々な世代や主体との交流の促進

- ・ 保全活用やイベントなど、地域や世代などを越えた交流を生み出す機会の創出
- ・ 公園利用や様々な活動を支え、多様な人々の交流を促進する拠点の整備

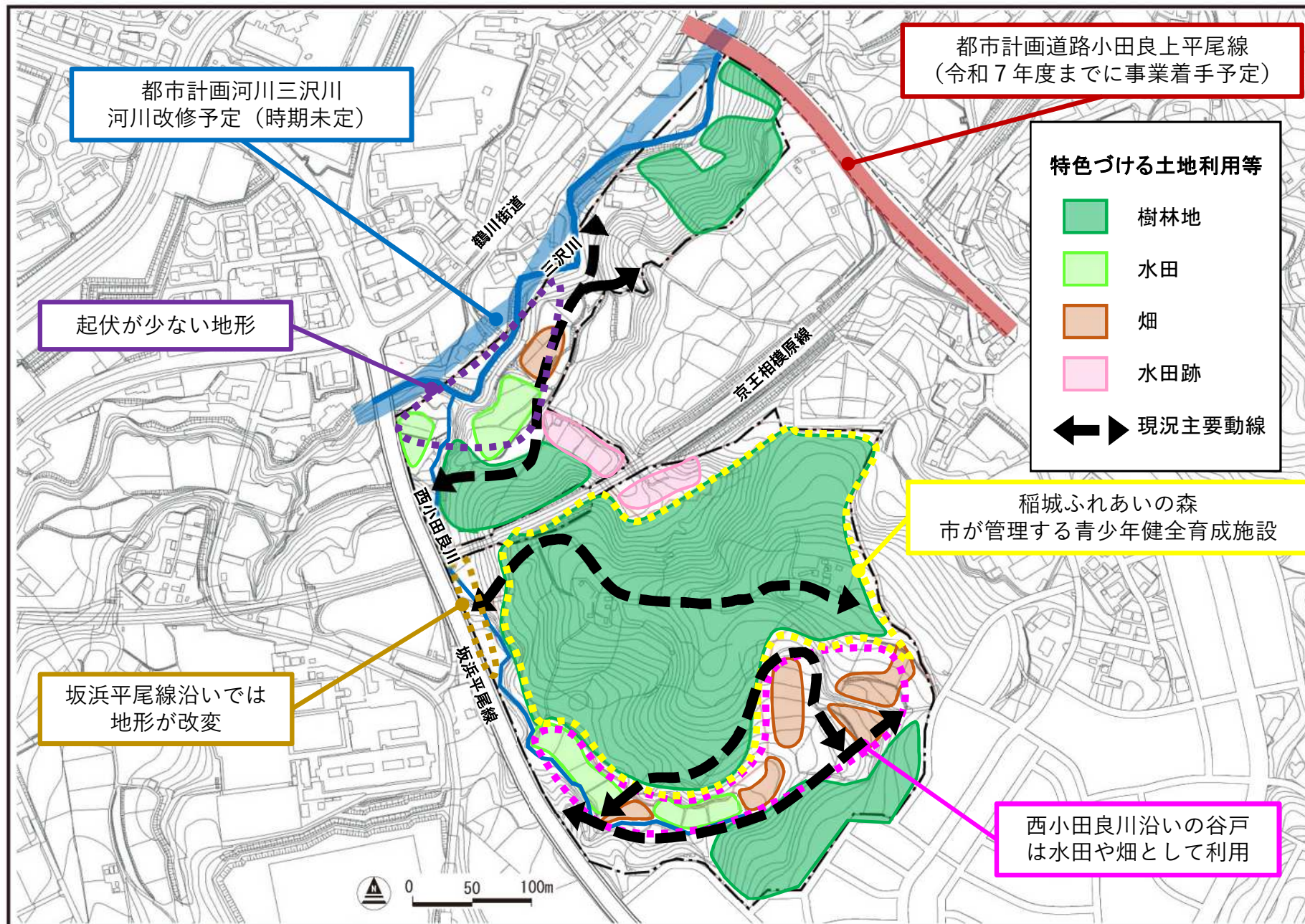
2. 計画区域等の概要①（緑のネットワーク）

●計画区域は、多摩丘陵の広域的な緑のネットワーク上に位置



出典：国土地理院空中写真をもとに東京都建設局作成

2. 計画区域等の概要②（周辺の空間特性等）

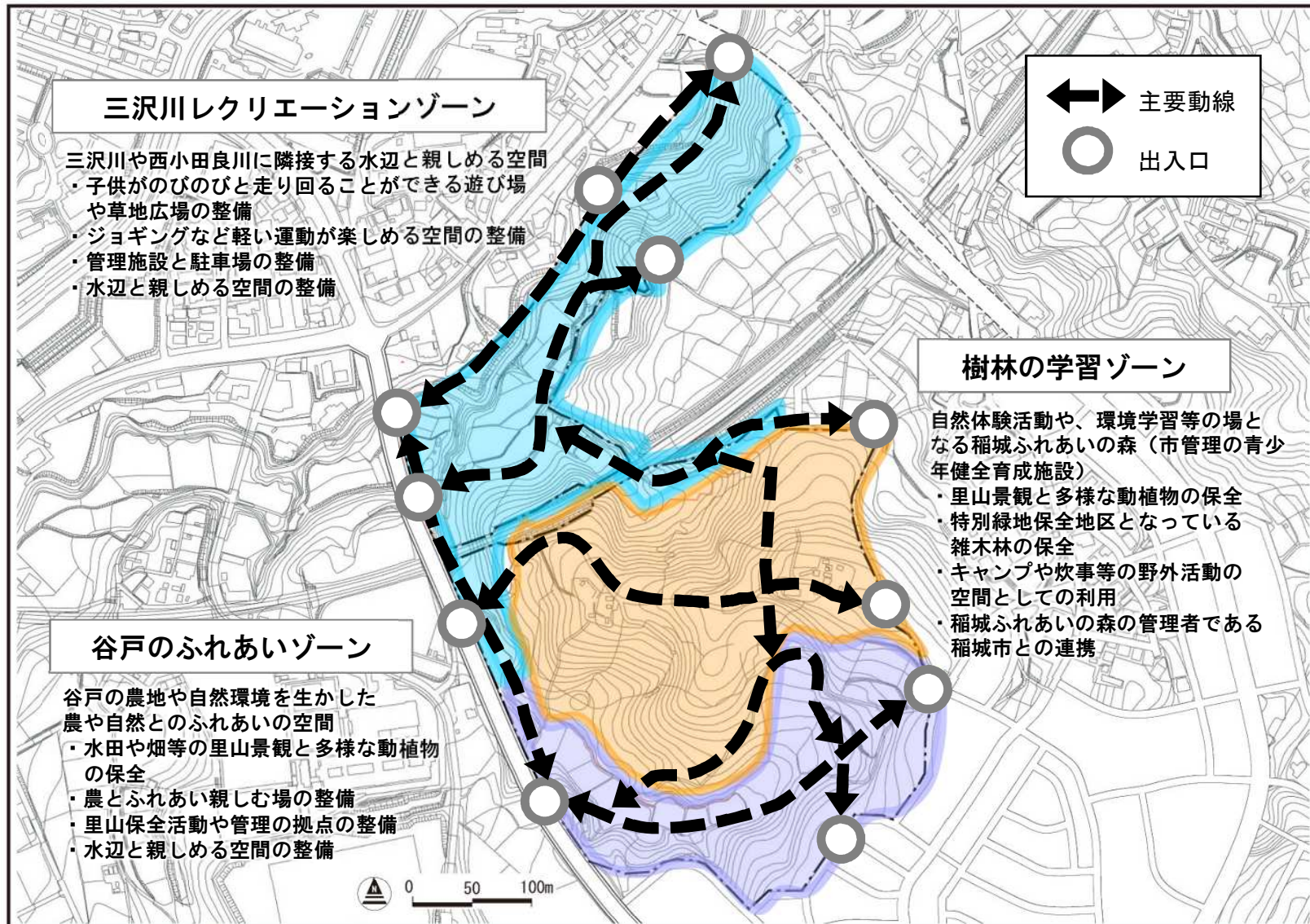


この地図は、国土地理院長の承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(3都市基交第367号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。

3. ゾーニング案

テーマ、コンセプト及び計画区域の空間特性等を踏まえ、「守る」、「楽しむ」、「繋ぐ」の機能発現に必要な要素を取り入れた3つのゾーンを設ける。

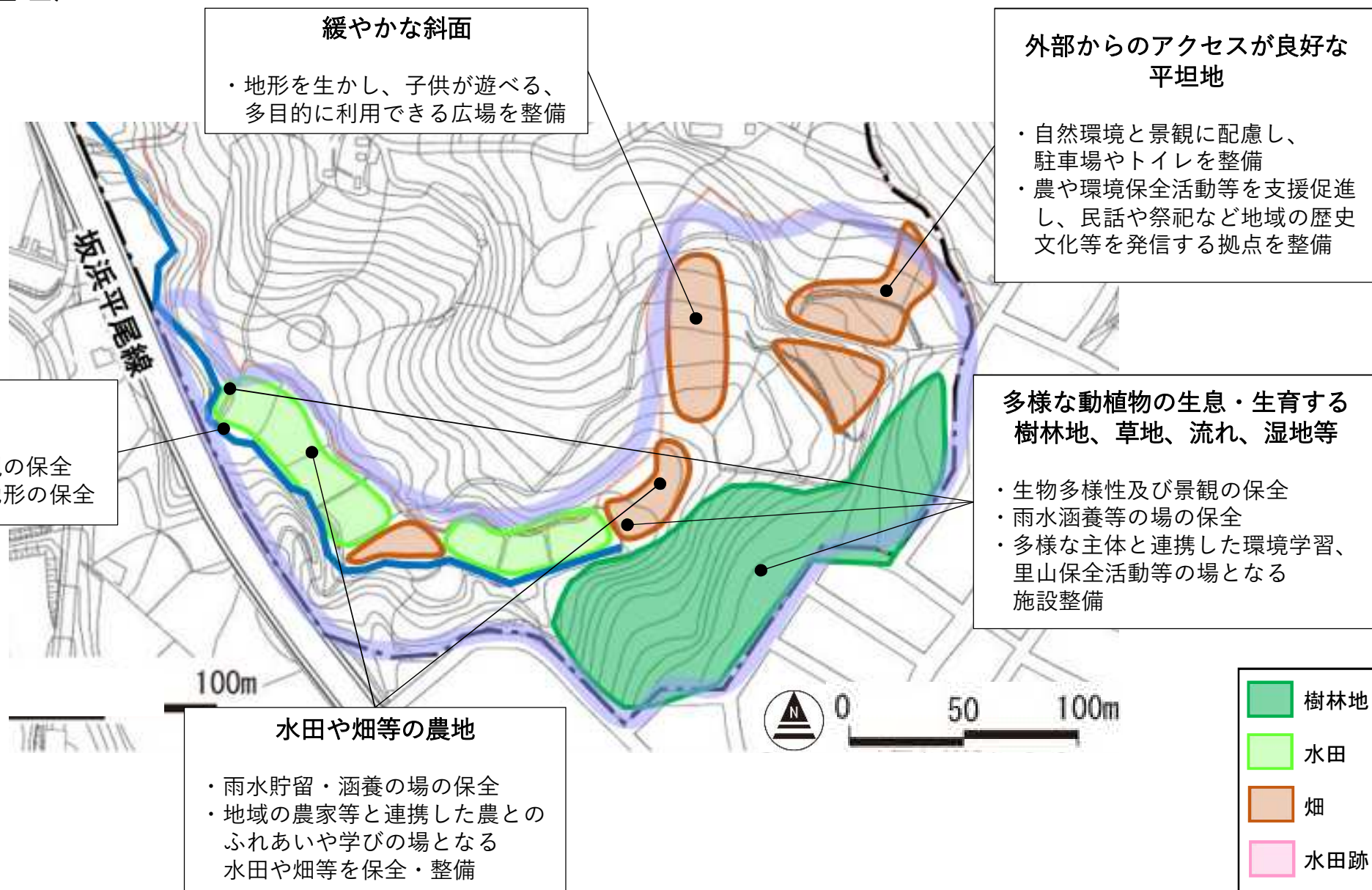
- ・小田良谷戸を特色づける土地利用や既存の地形、自然環境を生かし、施設配置を行う。
- ・既存の地形や歩行者動線を生かしながら、回遊性を持たせるための散策路を整備する。
- ・各方面からアクセスする出入口を整備する。



この地図は、国土地理院長の承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(3都市基交第367号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。

4. 谷戸のふれあいゾーン

〈空間特性の整理〉



この地図は、国土地理院長の承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(3都市基交第367号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。

4. 谷戸のふれあいゾーン

谷戸の農地や自然環境を生かした農や自然とのふれあいの空間

【コンセプト実現のための要素】

<守る>

- 様々な生物を育む樹林地、草地、水辺、湿地
- 里山景観を構成する水田、畑、地形
- 里山の生態系を構成する様々な生物

<楽しむ>

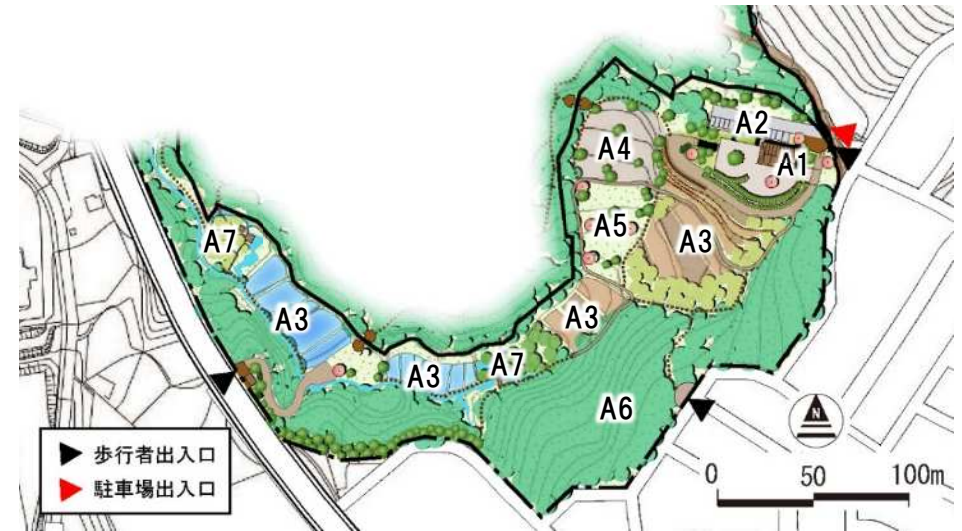
- 農とふれあい親しむ場
- 谷戸の自然環境を生かした環境学習の場
- 子どもたちが思い切り遊べる場

<繋ぐ>

- 地域と連携した農とのふれあいや学びの場
- 多様な主体と連携した環境学習、里山保全活動等の場
- 公園利用や各種活動を支える施設

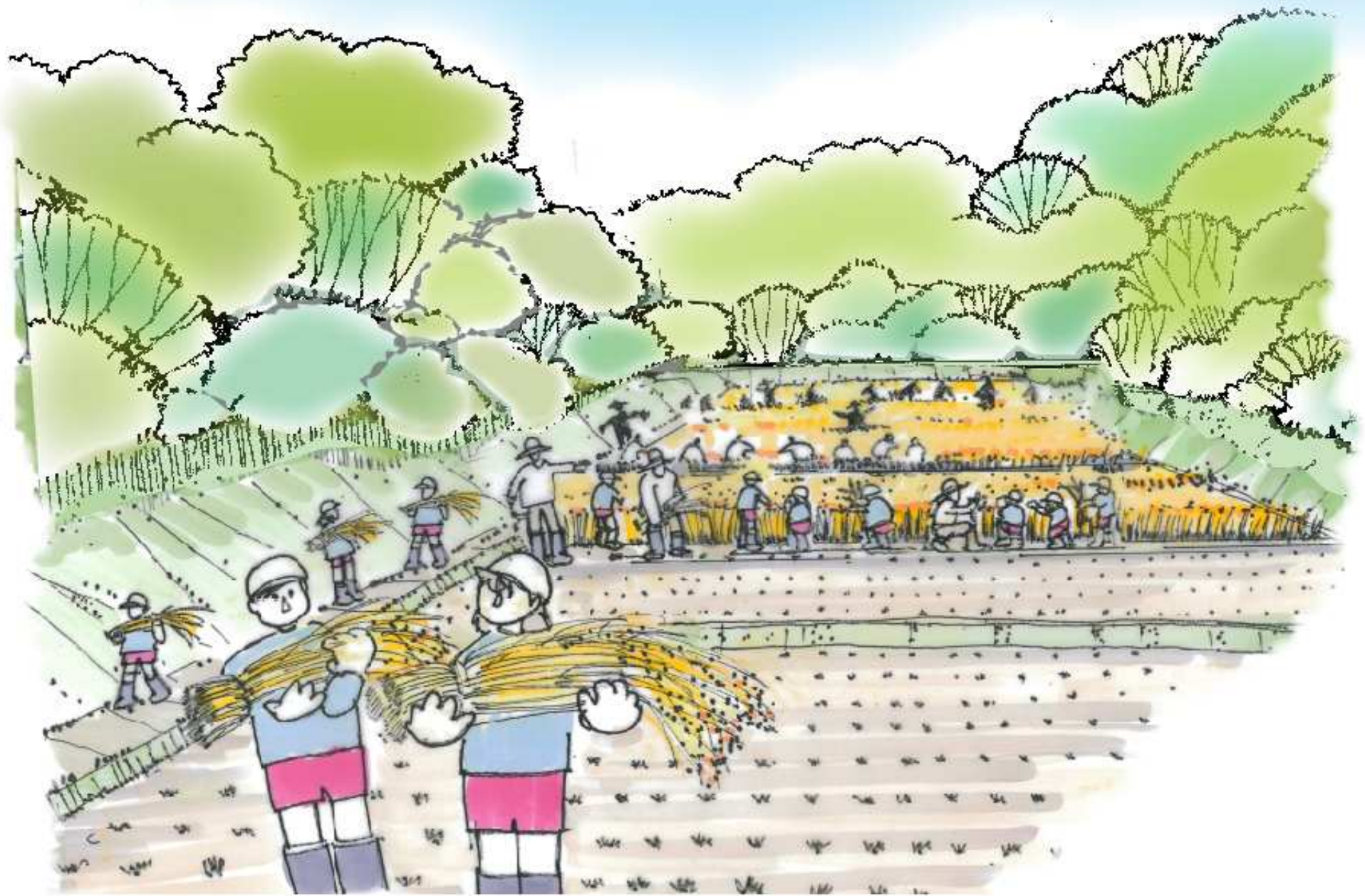
【主な施設（案）】

A1 ビジターセンター	各種活動の拠点 利用者の休憩所、地域の歴史文化等の情報発信、交流拠点として機能
A2 駐車場	主に管理運営用であり、障がい者等も利用できる駐車場
A3 水田、畑、果樹園	既存の水田・畑等を活用した、農とのふれあいや学びの場となる農園 車椅子でも活動できる農園
A4 冒険広場	現況地形を生かし、丸太等を配置した、体を動かし土と触れ合える遊び場
A5 草地広場	現況地形を生かした休息等の多目的利用の場となる草地広場
A6 雑木林	里山景観を構成する樹林地 様々な生物を育み、環境学習の場として活用
A7 湿地、湿生林、湧水地	西小田良川沿いの湿地に湿生林を整備 観察デッキを配置し、環境学習の場として活用



※図中の樹木や園路、施設等の形状・配置はイメージです

谷戸のふれあいゾーン イメージスケッチ



※図中の樹木や園路、施設等の形状・配置はイメージです

5. 樹林の学習ゾーン

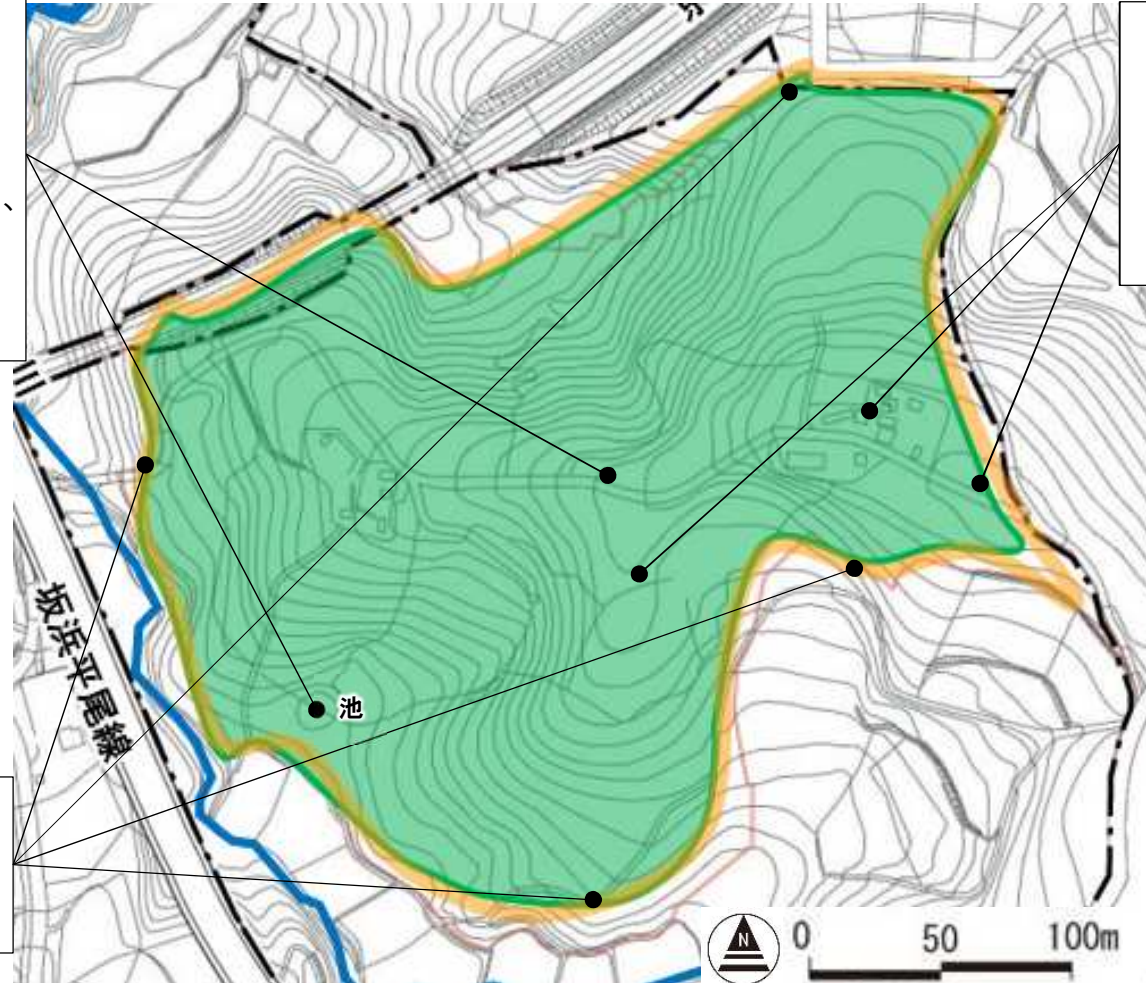
〈空間特性の整理〉

多様な動植物の生息・生育する
樹林地、池、草地等
(市管理の特別緑地保全地区)

- ・ 生物多様性及び景観の保全
- ・ 野外活動、レクリエーション活動、里山保全活動等の場
- ・ 自然の中でのレクリエーションを通じた、憩いと交流の場

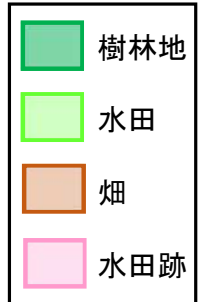
稲城ふれあいの森の既存施設
(市管理の青少年健全育成施設)

- ・ 管理運営施設、テントサイト、ファイヤー場、炭窯
- ・ 駐車場、トイレ



他のゾーンとの結節点

- ・ 他のゾーンとの連続性を強化する出入口を整備



5. 樹林の学習ゾーン

自然体験活動や、環境学習等の場となる稲城ふれあいの森（市管理の青少年健全育成施設）

【コンセプト実現のための要素】

<守る>

- 様々な生物を育む樹林地
- 里山景観を構成する樹林地
- 里山の生態系を構成する様々な生物

<楽しむ>

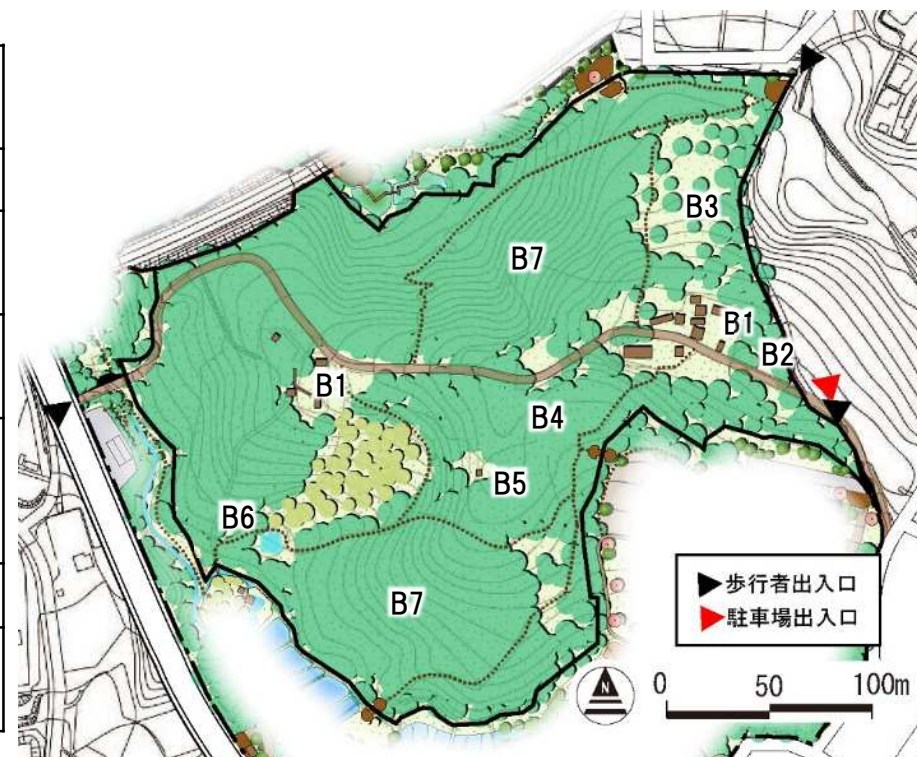
- 自然と共生した持続可能な里山文化を体験する場
- 樹林の自然環境を生かした野外活動、環境学習の場
- 樹林を生かした遊びの場

<繋ぐ>

- 多様な主体と連携した自然体験活動や環境学習、里山保全活動の場
- 公園利用や各種活動を支える施設

【現況施設】

B1 管理運営施設	野外体験施設の管理拠点 自然観察や森の保全活動の拠点
B2 駐車場	車での来園者や管理運営用の駐車場として機能
B3 テントサイト	学校キャンプを中心とした自然体験活動等に活用
B4 ファイヤー場	キャンプ時のファイヤーサークルやガイダンス広場等として人々の交流を創出する場
B5 炭窯	雑木林の産物としての炭を焼く窯 自然と共生した持続可能な里山文化を体験する場として活用
B6 南の泉	様々な生物を育み、環境学習の場として活用
B7 雑木林	里山景観を構成する樹林地 様々な生物を育み、自然観察の場として活用



※図中の樹木や園路、施設等の形状・配置の一部はイメージです

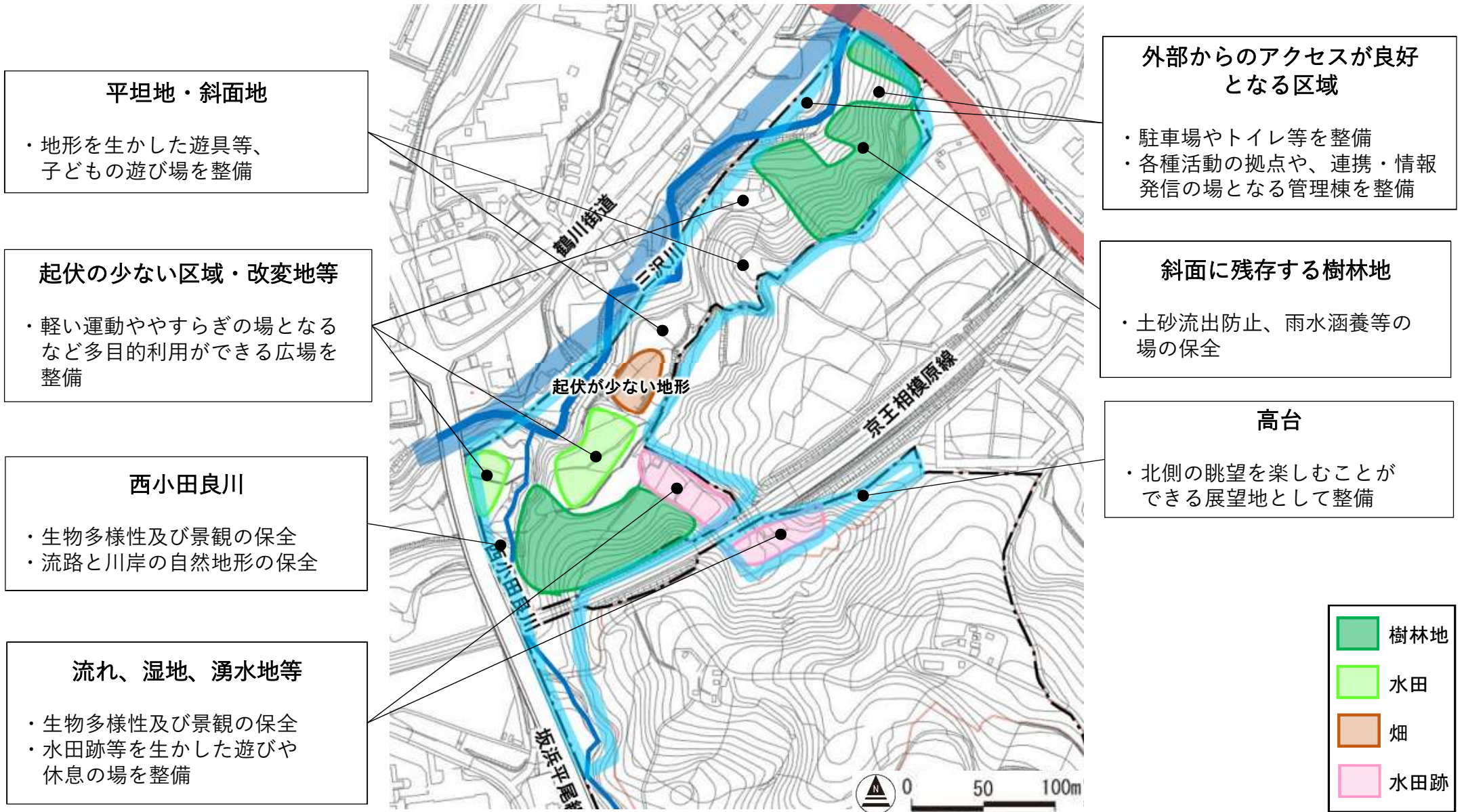
樹林の学習ゾーン イメージスケッチ



※図中の樹木や園路、施設等の形状・配置はイメージです

6. 三沢川レクリエーションゾーン

〈空間特性の整理〉



6. 三沢川レクリエーションゾーン

三沢川や西小田良川に隣接する水辺と親しめる空間

【コンセプト実現のための要素】

<守る>

- 様々な生物を育む樹林地、草地、水辺、湿地
- 里山景観を構成する地形
- 里山の生態系を構成する様々な生物

<楽しむ>

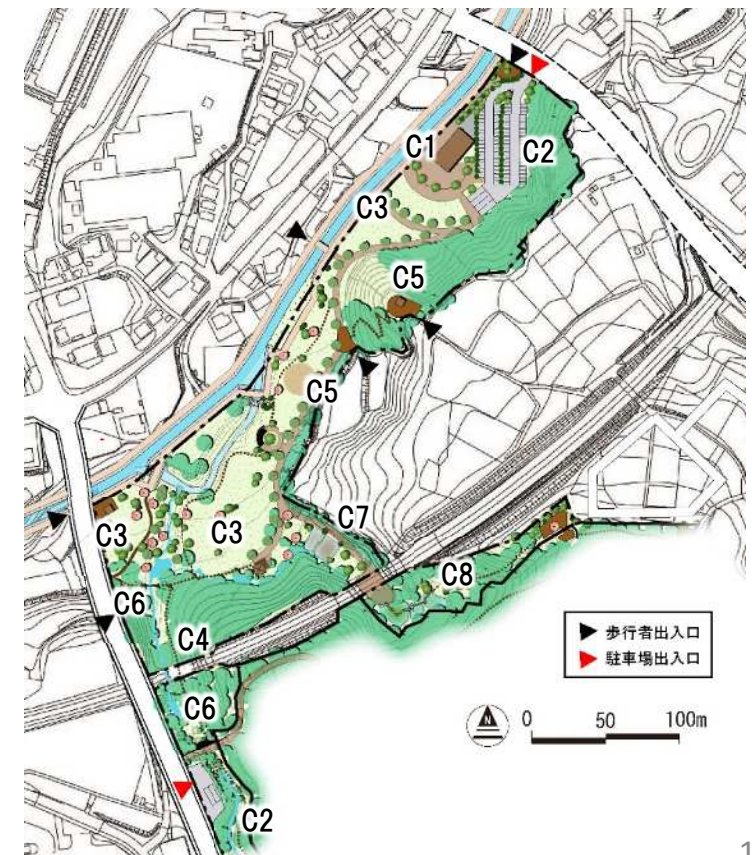
- 流れを生かした水遊び場
- 軽い運動ややすらぎの場
- 子どもたちがのびのびと遊べる場

<繋ぐ>

- 交流を生み出す様々なイベント開催の場
- 園内利用の情報発信の場
- 公園利用や各種活動を支える施設

【主な施設（案）】

C1 管理運営拠点	各種活動の拠点かつ利用者への情報提供を行う施設 公園利用情報の発信、交流拠点として機能
C2 駐車場	車での来園者の玄関口として機能
C3 草地広場	現況地形を生かし、里山の樹木に囲まれながら、 軽い運動や散策、休息、イベント等の多目的利用が できる広場
C4 せせらぎ遊歩道	西小田良川水系を活用した流れ沿いの遊歩道 谷戸のふれあいゾーンと連続
C5 子どもの遊び場	里山の樹木に囲まれながら、だれもが遊べる児童 遊具広場 地形を生かした遊具
C6 水遊び場	西小田良川を活用した、子どもが水遊びを 満喫することができる場
C7 泥んこ田んぼ	かつての水田を活用した泥んこ遊びの場
C8 湿地	湧水を活用した自然観察の場



※図中の樹木や園路、施設等の形状・配置はイメージです

三沢川エントランスゾーン イメージスケッチ



※図中の樹木や園路、施設等の形状・配置はイメージです

7. 計画平面図案



A 谷戸のふれあいゾーン	
A1	ビジターセンター
A2	駐車場
A3	水田・畑・果樹園
A4	冒険広場
A5	草地広場
A6	雑木林
A7	湿地・湿生林 ・湧水地

B 樹林の学習ゾーン	
B1	管理運営施設
B2	駐車場
B3	テントサイト
B4	ファイヤー場
B5	炭窯
B6	南の泉
B7	雑木林

C 三沢川レクリエーションゾーン	
C1	管理運営拠点
C2	駐車場
C3	草地広場
C4	せせらぎ遊歩道
C5	子どもの遊び場
C6	水遊び場
C7	泥んこ田んぼ
C8	湿地

※図中の樹木や園路、施設等の形状・配置はイメージです
 ※出入口や施設等の配置、規模等の詳細は、今後検討していきます

8. 多様な主体と連携した管理運営イメージ

里山の暮らしと自然との共生により維持されてきた環境を次世代に継承するとともに、人々の繋がりを生み出す公園とするため、各種活動・イベント等の実施を通して、地域や世代を超え、多様な主体と連携した管理運営に取り組む

○農とのふれあいの推進

農家等の地域住民の技術的支援を得ながら、市民団体、学校等とともに土づくり、植え付け、除草、収穫等を実施し、担い手育成を含め多くの都民が継続して農に関わる取組を推進



稲刈り
(桜ヶ丘公園)



落葉掻き
(大戸緑地)

○自然環境保全活動の実施

ボランティア、市民団体等とともに、クズやオオブタクサ等の除草、下草刈り・落葉掻き等の雑木林管理、炭焼き等の資源循環を踏まえた発生材利用、生物調査、生態系被害防止外来種の駆除などを実施し、担い手を育成しながら多摩丘陵の自然を次世代に継承



セイタカアワダチソウ駆除
(桜ヶ丘公園)



収穫祭
(小山田緑地)

○体験型イベント等の実施

民間事業者、市民団体、自治体等と連携を図り、ガイドウォーク、収穫祭、マルシェ、昔遊び、ツリークライミング、工作、ヨガ、サウナなどの実施により、多くの都民へ各種体験の機会を創出



里山ヨガ
(小山田緑地)



管理運営協議会
(野山北・六道山公園)

○管理運営協議会等の実施

地域住民・市民団体・自治体・学校等の多様な主体と公園の管理運営等について情報共有や意見交換を実施し、協力して管理運営を推進

